

皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨て、製品に触れた部分を温水と石鹸でよく洗い落とす。

吸入した場合： _____

飲み込んだ場合：直ちに、多量の水を飲ませて吐かせ、医師の診断を受ける。
意識のない場合は無理に吐かせてはいけない。

火災時の措置

消火方法：特に引火、爆発の危険性はない。

消火剤： _____

漏出時の措置

少量の場合は、ウエス等に吸収させて空容器に回収する。大量の場合は、土砂等で流れを止め、下水、河川に入り込まないように安全な場所に導いて空容器に回収する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：皮膚や眼に触れないよう、適切な保護具を着用して作業する。

保管：容器は直射日光を避け、密閉して屋内一般倉庫に貯蔵する。漏れ、転倒、落下、凍結を避ける。

暴露防止措置

管理濃度： 情報なし

許容濃度 日本産業衛生学会（ _____ 年度版）： 情報なし

ACGIH（ _____ 年度版）： 情報なし

設備対策： _____

保護具 呼吸用保護具： _____

保護眼鏡： 普通眼鏡型

保護手袋： ゴム手袋

保護衣： 普通作業服

物理／化学的性質

外観等：

沸点： _____ °C 情報なし